

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 社会福祉法人 松樹会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2190
 URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

編集責任者：理事長 中村 猛
 編集：季刊誌発行委員会

季刊誌「みどりの風」 発刊ご挨拶

理事長 中村 猛



今年は、から梅雨かなと思っていましたところ、今週は前線が居座って、雨模様の多い日が続いております。昨日は七夕行事で私共の病院や施設では患者様、利用者の方々や、職員の色々な願いを込めた札のかかったツリーが飾られておりました。その中でペンをとっております。

さて、私共医療法人みどり会と社会福祉法人松樹会の両法人では、

このたび合同の季刊誌「みどりの風」を年4回、外部のお世話になっている所、御縁をもっている所を中心に発刊し、お送りすることにしました。季刊誌「みどりの風」は私達のモットーである、温かい思いやりの心をみどりの色に託して、地域の方々へお便りの風を送り、交流親睦を深めてまいりたいと思っております。

従来、内部ではそれぞれの部署で月刊誌を発刊し、私達のスタッフ間の情報の共有化を図ってまいりましたが、今回、外部の皆様にも、私達の業務・活動の現状計画等をありのままにお便り申し上げ、地域の医療保健福祉業務のつながりを深めさせていただき、色々な御意見、御指導、御叱咤をあおければ幸いです。

いままさに、世の中は目まぐるしい変化と動きの真っ只中にあります。この原稿を書いている7月8日でも、世界のニュースはサミット開催のロンドンで2012年のオリンピック開催が決まった喜びもつかの間に、また同時多発テロが勃発し、

多数の犠牲者を出しております。わが国では郵政民営化の法案が衆議院を僅少差で通過し、いよいよ参議院の審議にさしかかっており、その難関突破がならない場合、解散・総選挙のうわさも流れております。我々の医療福祉分野では医療介護の両保険の財政難から、医療費抑制、保険料値上げ、自己負担増の社会保障の後退の動きが出ております。

私どもの法人は、昭和54年6月に外科医院を開設して、その母体のもと医療法人化、また2年前には社会福祉法人を立ち上げ、約4半世紀の歩みを続けてまいりました。絶えず試行錯誤の中、なんとか地域に開かれた安全で安心な、より良い医療福祉サービスを提供出来ないものかスタッフ一同は、明るい活力のある地域社会作りの一員となり、貢献出来ないものかと考えて実行、努力しているところでございます。

可能な限り自然体で、有り体に気取らず、おごらず、高い志をもった明るい行動力、理念・目標をかがけて、この季刊誌を編集・発刊出来ればと思っております。どうか皆様方には我々の趣旨をお汲み取りの上、親しくお便りさせていただきなで、相互の交流、お気づきの点等、なんでも御指示、御意見をいただければ幸いです。

第1号の発刊に際しまして、よろしく願い申しあげ、御挨拶と致します。



■ 新病院「中村記念病院」開設計画について

この度、医療法人みどり会では北河内地区83床の増床許可を受け、中村記念病院計画を推進してまいりました。去る平成17年6月7日地鎮祭を行い平成18年4月1日開設に向けて7月から着工いたしました。JR学研都市線の長尾駅徒歩3分と利便性の良いところで開設させていただきます。既存の中村病院との医療機能を生かし、新病院では急性期発症後の回復期リハビリテーション23床、療養型病棟60床で術後の在宅復帰をめざし、総合リハビリテーションA施設と外来3診察室の体制で運営させていただき予定で。

基本方針としましては、患者様をいつでも受け入れるかかりつけ医体制を充実させ近年における、リハビリテーション医療の増大に対応するため、回復期リハビリテーション病棟及び総合リハビリテーションA施設を新設し、社会復帰へのあらゆる可能性を求め診断、治療、看護、リハビリテーション

総合訓練等（理学療法・作業療法・言語聴覚療法等）総合的な生活支援を一貫して行ってまいります。更に、患者様に快適で安全な病院施設づくりをめざし、十分な説明と同意のもとプライバシーの尊重と医療情報の提供を図るとともに患者様の気持ちを大切にしたい人間的医療を追求してまいります。枚方市を中心とした医療圏において地域の患者様また、近隣医療機関の皆様との病々連携・病診連携をとらせて頂くなかでこのたびの計画を推進してまいりますので皆様方のご支援とご理解をお願い申し上げます。



地鎮祭 6月7日

■ 新任のご挨拶

呼吸器科医長 傍島 徹



ご挨拶が遅くなりまして申し訳ございませんが、17年余り勤務させて頂きました星ヶ丘厚生年金病院（呼吸器外科）を昨年11月末で退職し、12月1日より中村病院に勤務させて頂いて居ります。

当院では呼吸器科・胸部外科・漢方診療科を担当しています。

気管支炎、気管支喘息、肺気腫等の呼吸器内科疾患に対して薬物療法、リハビリテーション、在宅酸素療法等の治療を行い、また肺癌や自然気胸等の外科手術も行っています。何かお困りの呼吸器疾患がありましたらお気軽に相談して頂ければ幸いです。また肺癌等の患者さん

のセカンド・オピニオンにも積極的に取り組んでいます。

近年肺癌を含めた各種癌が増加していますが、外科手術や抗癌剤治療等の各種治療法を併用する集学的治療を施行するのみでなく、より副作用が少なく治療効果が期待できる癌栄養動脈内抗癌剤注入療法も積極的に取り組み、良好な治療効果が得られています。また今後はホスピスケアを目指した癌緩和ケアにも取り組みたいと考えています。

漢方治療科では東洋医学理論に基づいた漢方薬を用いた治療や東洋医学的トリガーポイント療法のみならず、東洋医学と西洋医学の良い点を取り入れた併用療法も行っています。また近年話題になっていきますホリスティック医学等の代替療法の研究を行うとともに治療に取り入れたいと思います。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

■ 臨床研修医（地域保健医療分野）受入れ

当医療法人みどり会中村病院は、星ヶ丘厚生年金病院の地域保健医療分野担当の協力施設として、平成17年5月より臨床研修を開始することになりました。

中村病院は昭和54年6月に開設して以来25年が過ぎ、老人保健施設なごみの里をはじめ、在宅医療や姉妹法人の社会福祉法人松樹会の連携とともに、地域のニーズに根ざした医療・福祉を提供する複合体として日夜対応しているところです。

新進気鋭の若き研修医の方々が当法人で、地域に即したプライマリーケアの保健医療の現場を体得して頂き医療のリーダーとして成長される事を心より期待致しております。



● 今後の研修予定 ●

- 平成17年 7月：計 屋 由 紀 子
- 10月：枝 川 光 太 郎
- 11月：鮫 島 良 子
- 12月：藪 田 健 太 郎
- 平成18年 1月：和 田 貴 子
- 2月：杉 浦 剛

■ 看護部紹介

看護部長 藤原千佳子



当院の看護部の理念は、「地域住民の皆様にも密着し親しまれ、心温まる病院を目指しています。」です。看護とは手と目でももることであると言われてます。看護師が、自分の五感を最大限に発揮し、そこに今まで培ってきた技術・知識・経験を加え、

看護師一人一人がその責任において、患者様が主役であるより質の高い高齢サービスが提供できるようにしていきたいと思っています。

また来年の4月には、中村記念病院も完成します。看護部が掲げる理念に近づけるように患者様から中村病院でよかったといわれるように、看護部一同がんばります。

看護師 森 長子



長い看護師生活に終止符を打った矢先に新病院開設実行委員のお話を頂きました。お役に立てるか不安で一杯でしたが仲間入りさせて頂きました。

さて、回復期リハ病棟では、リハ専門医を中心に、多職種がそれぞれの立場から患者様を主体にリハ総合実施計画を作成することから始められます。看護師として対象の「生きた像」を描き、更に相手の感情を思いやり行き届いた心に向ける能力を育む事が大切だと考えています。そして出会ったおひとりおひとりと信頼・夢が生まれる。そんな出会いをいつも私は大切にしたいものです。微力ですが努力したいと思っています。ご指導の程お願い申し上げます。



なごみの里

なごみの里の沿革と主題

施設長 岡田 弘



介護老人保健施設「なごみの里」は平成11年2月、100床をもって発足しました。その後、平成12年4月には介護保険制度が施行され、なごみの里はいよいよその役割が重要になりました。そこで平成14年8月、150床に増床となり、私が施設長として中村病院から赴任しました。また、通所リハビリ「なごみの里」の定員も50名から60名へと増えました。今や枚方市いや大阪府でも1、2を争う規模のマンモス施設となっています。

また兄弟施設として、なごみの里に接してグループホーム「たんぽぽ長尾」の9床があり、向にはケアハウス施設37床と通所介護施設定員20名の「つくしんぼ長尾」があります。

なごみの里は田園に囲まれ静で、付近には幼稚園、小・中・高校があるのみです。「光・音・香」をなごみの里の主題としております。いつも美しい風景を眺め、小鳥の声を聞き、花の香りが絶えないような雰囲気を作りたいと願って居ります。

介護サービスを考える

相談室長 梶野 仁

介護サービスの利用者は心身にハンディキャップをかかえ、日常生活の一部あるいは全てで介護を要する方々である。介護施設では、障害を有する高齢者が予期せぬ事故に遭わないよう、「事故防止対策マニュアル」を作成し、全職員が危機意識を持つと同時に、自己資質の向上に努める必要がある。

当施設のマニュアルの基本事項「転倒・転落事故」について下記に紹介する。

- ①利用者側の要因：利用者の運動機能・感覚機能・判断力・適応力の低下
- ②介護提供側の要因：利用者の身体状況・ADL・状況変化の把握不足、リスク認識が未熟、他職種間の連携ミス
- ③生活環境要因：障害物と死角、設置機器の不備、危険箇所の認識不足

当施設の介護従事者がこのような事故要因の実態を十分に自覚し、「安心と安全」についての気配りがスムーズに導入出来るよう措置いたしたい。

在宅部門

在宅医療の現場から



居宅介護支援センター つくみ・なごみ・つくしんぼ

私達、居宅介護支援センターはケアマネジャーという介護保険のスペシャリストの集団です。介護保険の専門知識と看護・介護経験豊かなケアマネジャーが複数名常在し、介護保険の利用方法など介護に関するご相談のみならず福祉・保健・医療等のご相談にも応じ、ご自宅で介護なさっている方、介護される方の立場に立ち、いかにご自分らしく快適な在宅生活を送っていただけるかと日夜考え邁進しております。

来年には介護保険の改正が待ち構えておりますが、今後も益々在宅で介護されておられる方の味方になり日々研鑽していきたく思っております。

丹井 美千代
所長(介護支援専門員) 山地 明子
高杉 孝博

訪問介護ステーション みどり

当事業所は登録ヘルパー30数名のスタッフで一人ひとりのニーズにお応えできるようにと日々努力しております。

健康で心豊かに在宅生活を送りたいと願うのは誰しも同じです。

今までされてきた日常生活を少しでも長く続けられるように手を差し伸べてあげるのが私達介護の仕事だと思っております。

利用者様の声に耳を傾け、地域に根ざした介護をスタッフ一同連携をとり納得いただけるよう支援してまいります。

所長 小山 康子

訪問看護ステーション みどり

訪問看護ステーションみどりが設立されて八年が過ぎました。

この間、急速な高齢化社会に向けての介護保険制度の導入による多職種の参入、また在院日数の短縮により医療依存度の高い利用者様の増加など在宅介護の現場も少しずつ変わってきていますが、利用者様と家族が満足できる在宅医療生活を他職種と連携をとりながら提供できるよう日々、努力しています。

在宅生活がすべてではありませんが、その人らしい生活を送ってもらう為に私たちは看護の質を高め、利用者様が安心して療養生活が送れるよう支援していきたく思っています。

所長(看護師) 廣瀬 としえ

訪問リハビリテーション

訪問看護ステーションみどりでは理学療法士を常勤で2名配置し、訪問リハビリにも力を入れております。

訪問リハビリの対象者は

- ①障害の程度に関わらず通院や通所リハビリが困難な方。
- ②環境整備等が必要な方が対象となります。

訪問リハビリの内容としては

利用者様に対する機能訓練のみならず福祉用具の選定方法の助言、住宅改修に対する助言等も含まれます。

住宅改修においては福祉住環境コーディネーターの資格を取得し、より質の高い住環境整備に努めております。今後も自己研鑽にはげみ関係との連携を密にし、より質の高い訪問リハビリを提供できるよう努力してまいります。

理学療法士 山本 洋晃

社会福祉法人「松樹会」は平成14年2月に開設し、地域の方々や関係事業所等に支えられながら4年目を迎えることとなりました。

平成17年4月において松樹会では、ケアハウス2ヵ所とグループホーム、デイサービスと大きく4つの施設・事業所があります。ケアハウスは全室個室となっており、基本的な身の回りのことはご自分で出来る方が入居されている施設です。サービスとしてはお食事と入浴の提供や緊急時等の24時間対応を行っております。また、在宅同様介護保険サービスも利用できるため、お一人では困難な通院や買い物等でヘルパーを利用されている方も多くいらっしゃいます。また、季節の行事も多く取り入れ、入居されている方同士での交流を深め、少しでも有意義で楽しい時間を過ごしていただけるように努めています。

「つくしんぼ藤阪」では新設のケアハウスとしては、枚方市で初めて介護保険対応のケアハウスとなりました。従来のケアハウスと同様に居室は個室となっておりますが、要介護状態になられた場合でも介護職員が状態に合わせた対応を行うことが大きな特徴となっております。また、浴室もリフト浴があり、入浴がお一人で難しい方でも職員の介助の下ご入浴いただけます。「ある居場所に少しでも長く過ごしたい」そのような要望にお答えした施設ではないでしょうか。

「グループホームたんぼぼ藤阪」は認知症(痴呆症)によりご自宅での生活が難しくなられた方が集団活動を通して症状の緩和に努めている生活施設です。認知症により阻害されてきた生活の経験を、職員や他の入居者との共同活動を行いながら思い出し、または症状の進行を少しでも止める援助を行っております。また、健康管理を通じて病気の早期発見に努めております。



ケアハウスつくしんぼ藤阪
グループホームたんぼぼ藤阪

「デイサービスセンター長尾」(定員20名)を開設し、地域の方々にも広く介護保険サービスを提供できるようになりました。お食事と入浴サービスを基本に、入浴後のマッサージ等も行って好評を得ています。また、デイサービス長尾では様々な催し物や教室を通じて、笑顔あふれる事業所としてご利用いただいております。



ケアハウスつくしんぼ長尾
デイサービスセンター長尾

社会福祉法人「松樹会」はまだまだ至らぬ所も多くございますが、地域の皆様や医療機関、事業所に支えられて参りました。季刊誌の創刊にあたり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。当法人では今後も広く地域の皆様や医療機関、事業所の方々との連携を深め、お一人の満足と安心を図れる施設、事業所でありたいと願っております。

特別養護老人ホーム開設について

社会福祉法人松樹会では、枚方市交北地区で特別養護老人ホームの建設準備を進めております。すでに大阪府の内示もいただき、平成19年度末までの開設を目指しております。

特別養護老人ホームの概要について。

○建設予定地：枚方市交北2丁目

○ご利用定員等：入所定員：60名 短期入所：10名
通所介護：30名

その他、居宅介護支援事業所や配食サービス、有償運送事業等を予定しております。

○運営方針：運営方針は、様々な人々が通うことで、心から生を実感でき、生きる力や希望が湧いてくる「健康と生き甲斐づくり」と利用者様の特性を踏まえた生活介護、食事、健康管理等に配慮したサービスを提供すると共に、施設利用者以外にも地域の方との交流を持ち、より開放的な施設づくりをめざしております。



特別養護老人ホーム完成イメージ

地域医療相談室より

平素は、当院との医療連携にご協力を頂きまして、誠に有難うございます。現在、中村病院の地域医療相談室では、ソーシャルワーカーが2名働いております。主に、患者様やご家族へのサポートとして、入退院の援助、心理的・社会的問題のご相談などをさせていただいております。また、他病院・他施設との病病連携を始めとして、在宅で要となっておられるケアマネジャーの方々とも病棟カンファレンスなどに参加してもらうなど連携を取らせていただいております。

今後も、各機関との連携については課題が残っておりますが、各関係機関へソーシャルワーカーが実際に訪問させていただき、「顔の見える」信頼関係を築いていき、地域医療に携わる方々と交流を深めていきたいと考えております。

転院のご相談がございましたら、是非、中村病院へご紹介下さいます様、宜しくお願い致します。

今後とも、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



難波江乃子・安部健太

編集後記

みどり会・松樹会合同の季刊誌を年4回発行することになりました。創刊号は理事長はじめ各部門のご紹介とご挨拶が中心になりましたが、今後は地域医療・福祉・健康の分野で地域の皆様に支持していただける法人を目指し活動して参りますので、今後とも御指導、御支援を頂きますようお願いいたします。

季刊誌編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071

法人本部 松田